

第Ⅳ章 研究協力校の授業実践

○旭川市立向陵小学校 第3学年 国語科
授業者 上野真吾 教諭
研究部 元島由香利 教諭

○上川町立上川中学校 第1学年 外国語科
授業者 鏡 匡助 教諭
研究部 飯村喜代美 教諭

児童が思考して問い続ける姿を目指すために、 児童の意識に沿って思考が連続する過程を重視した学習

日 時 令和2年9月14日(月) 5校時 実施
生 徒 旭川市立向陵小学校 3年2組 28名
指導者 上 野 真 吾

- 1 単元名 「はじめて知ったことを知らせよう」
「鳥になったきょうりゅうの話」 (光村図書 3年)

2 単元について

(1) 教材観

本単元に関わる学習指導要領の目標および内容(抜粋)は、次のとおりである。

【学習指導要領】～第3学年及び第4学年(国語科)の目標と内容～

1 目 標

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。
- (3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 内 容

【知識及び技能】の内容

- (3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

○読書

オ 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。

【思考力、判断力、表現力等】の内容

C 読むこと

- (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるように指導する。

○共有

カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。

- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

ウ 学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。

低学年までの児童が手に取る本は、物語などの文学的な文章に偏っていることが少なくない。触れることのあまりなかったであろうジャンルの作品に目を向け、読書の幅を広げるきっかけとして図鑑や科学的な読み物を教材として扱う。普段、自分達が目にしている鳥が恐竜に進化しているということは、多くの児童にとって意外な事実である。これまで知らなかったことを知り、喜びを味わうことができる教材である。また、これまで知らなかったことへの興味は人それぞれ視点が違い、自分と他者の興味のもち方の違いやどちらもよいという自己肯定すること、認め合うことによさにも気付くことができる教材である。

この教材をきっかけに、自分の興味のある科学的な事柄に目を向け、本を選び、読む力を身に付けたい。さらに、本を読むと知識が増えることに喜びを感じ、もっと本を読んで知識を得たいという意欲や友達の読んだ本の面白さを自分も味わいたいという意欲を引き出し、読書の楽しさを感じながら幅広く読書をする態度を養うことをねらう。

(2) 児童観

取り組む内容が明確であったり、例示がされていたりすると、意欲的に取り組むことができる児童が多い。一方で、自信がないことであると、友達の意見に頼ってしまうことがある。

読書に関しては、学習マンガや低学年向けの物語を多く読んでいる印象である。科学的な読み物を読んで、知見を広げようとしている児童はほとんどいない。

(3) 指導観

本単元では、「本を読むことで新しいことを知ることができた」という経験を積ませたい。

単元の指導に当たっては、まず、「鳥になったきょうりゅうの話」を読むことで、「科学的読み物を読むと新しいことを知ることができるとい実感を味わわせ、その後、児童一人一人が興味をもった本についての紹介カードを作ること、相手や目的を意識して読書を行えるように働き掛けていきたい。そして、友達との考え方の違いや友達を選んだ本への興味を膨らませ、さらに読書の幅を広げていくことができるようにしていきたい。

(4) 学びの基盤

学びの基盤に関わり、本学級では以下の点を大切にしてきた。

① 「教室環境の整備」について

- ・集中して学習に取り組めるように、教室前面の壁面には提示物を貼らないようにした。
- ・全員の理解を促すために、ICTの活用を心掛けてきた。

② 「学習規律の確立」について

- ・授業開始までに、教科書、ノート、鉛筆などの準備ができるように指導してきた。
- ・始業のチャイムと同時に授業を始められるように、指導を行ってきた。

③ 「支持的風土の醸成」について

- ・学習の振り返りを発表した後には、拍手をしたり、「同じです」と反応したりするように指導を続けてきた。

3 単元の目標

- (1) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。 (知識及び技能)
- (2) 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 (学びに向かう力、人間性等)

4 評価規準

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。	「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	積極的に幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って、本を読んで驚いたり、感心したりしたことを紹介しようとしている。
① 図鑑や科学的な読み物などの本を読むことが、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 ② 読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 ③ 友達との交流を通して、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。	① 共通の本を読んで、感じたことや分かったことを共有して、一人一人の感じ方に違いがあることに気付いている。 ② 自分の選んだ本を読んで理解したことに基づいて、友達に伝える内容を整理している。 ③ 自分の選んだ本を読んで知ったことを伝え合い、一人一人の興味や感じ方などに違いがあることに気付いている。	① 自分の読書生活を振り返って単元のめあてを理解し、これからの学習に見通しをもっている。 ② 積極的に幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って、本を読んで驚いたり感心したりしたことを見付けようとしている。 ③ 友達が紹介した本に興味をもち、学習したことを今後の読書生活に生かそうという思いをもっている。

5 単元の指導計画と評価計画

(1) 単元の指導計画と評価計画における 18 次研究との関わり

研究内容(3) 指導計画・評価計画

指導に生かす評価，記録に残す評価の位置付け

本単元は、ねらいを達成させるために、「本を読んで得た新しい知識を友達に伝える」ということを主な活動として設定している。まず、教科書教材「鳥になったきょうりゅうの話」を児童全員が共通の話として読み、新しく得た知識は何かを交流し、一人一人得た知識や感じ方は違うことに気付く。次に、学習内容を生かし、自分の興味のある本を選び読んでいく。そして、新しく得た知識は何かを交流することを通して、「様々な本から新しい知識を得ることができる」「それぞれ得る知識や感じるものが違い、それを知ることを通して本の面白さが広がる」という、本単元で身に付ける資質・能力を段階的に身に付けさせる単元の指導計画としている。そこで、「本を読むと知識や情報を得ることができる」という知識・技能の評価を先に、そして「文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付く」という思考・判断・表現の評価を行うという指導に生かす評価の順とした。

主体的に取り組む態度については、毎時間、振り返りシートを使って、「めあては達成できたのか」「次は、何をするのか」「今日の学習をこれからの何に生かせるか」という視点で振り返りをさせる。この際、児童が本時のねらいを達成しているかどうかを振り返りの内容や声掛け等で把握し、次時の指導に生かす評価とする。また、単元の終末には、単元全体の振り返りも行う。児童が、単元を通して分かったことやできるようになったことを実感し、次の国語科の学習や他教科の学習に生かしていこうとしているかどうか、主体的な態度を評価するために、単元を通した振り返りシートの活用もしていく。

第IV章

(2) 単元の指導計画と評価計画における18次研究との関わり

問題文 学習課題 まとめ 目標 指導 指導に生かす評価 記録 記録に生かす評価

時	主な学習活動	評価方法及び指導上の留意点		
		知・技	思・判・表	主
1	<p>◎本から知識を得た経験を想起したり、科学的な内容を扱った本の読み方を知ったりして、学習の見通しをもつことができる。</p> <p>主体的な学び</p> <p>○本を読んで知識を得た経験を思い出し、交流する。</p> <p>○単元のめあてを確かめ、学習の見通しをもつ。</p> <p>【単元のめあて】 本を読んで、初めて知ったことを友達と伝え合おう。</p> <p>○図鑑や科学的な読み物などの本や、その読み方について知る。</p> <p>○本を選んで読むときの視点を確認する。</p> <p>○友達と伝え合うときの視点を確認する。</p> <p>○本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。 ※振り返りシート</p>	<p>指導 〈①〉</p> <p>・ワークシート 図鑑や科学読み物などの本を読むことが、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。</p> <p>指導の手立て</p> <p>「きょうりゅう」のイメージを確認する。どの挿絵に興味をもったか選ばせ、絵の説明をしている文はどこか探させる。</p>		<p>記録 〈①〉</p> <p>・ワークシート 自分の読書生活を振り返って単元のめあてを理解し、これからの学習に見通しをもっている。</p>
2	<p>◎文章の内容を理解し、感想をもつことができる。</p> <p>○課題の把握</p> <p>【「鳥になったきょうりゅうの話」を読み、文の組み立てや内容を理解しよう。】</p> <p>○教師の範読を聞く。</p> <p>○挿絵に見出しを付けながら、内容を把握する。</p> <p>○自分の感想をもつ。</p> <p>【・挿絵に見出しを付けることで内容の大体が分かった。 ・きょうりゅうについて心に残ったことは○○だ。】</p> <p>○本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。 ※振り返りシート</p>		<p>指導 〈①〉</p> <p>・ワークシート 共通の本を読んで、感じたことや分かったことを共有して、一人一人の感じ方に違いがあることに気付いている。</p> <p>指導の手立て</p> <p>どの文章が心に残ったか、場面ごとに挿絵と照らし合わせながら一緒に読んでいく。</p>	
3 本時	<p>◎初めて知ることなどに着目して文章を読み、考えや感じたことを共有して、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。</p> <p>対話的な学び</p> <p>○課題を把握する。</p> <p>【「鳥になったきょうりゅうの話」で「心に残ったこと」を交流しよう。】</p> <p>○挿絵を基に、心に残ったことを整理する。</p> <p>○心に残ったことを交流する。</p>		<p>指導 〈①〉</p> <p>・ワークシート 共通の本を読んで、感じたことや分かったことを共有して、一人一人の感じ方に違いがあることに気付いている。</p>	

	<p>心に残ったことは、それぞれ違う。 同じ文なのに、いろいろな感じ方があって面白い。</p> <p>○本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。 ※振り返りシート</p>		<p>指導の手立て</p> <p>心に残った場面の位置や感想、その理由を板書で一緒に確認しながら、自分の意見と比較させる。</p>	
4	<p>◎幅広く本に触れて、自分が読む1冊を決め、初めて知ることを見付けながら読むことができる。</p> <p>○課題を把握する。</p> <p>図鑑や科学的な読み物を選んで、初めて知ったことを見付けよう。</p> <p>○本を1冊選び、読む。</p> <p>初めて知ったことは、○○だ。本を読むと、知らなかったことを知ることができた。</p> <p>○本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。 ※振り返りシート</p>	<p>指導 〈②〉</p> <p>・ワークシート 読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。</p> <p>指導の手立て</p> <p>選んだ本の内容について知っていることを確認する。場面やページを分けながら、初めて知ったところは何か質問をする。</p>		<p>指導 〈②〉</p> <p>・ワークシート ・観察 積極的に幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って、本を読んで驚いたり感心したりしたことを見付けようとしている。</p> <p>指導の手立て</p> <p>好きなこと、知りたいことなど、興味のあることは何かを対話しながら確認し、読みやすい簡単な本と一緒に探す。</p>
5 6	<p>◎選んだ本を読んで理解したことに基づいて、友達に伝える内容を考え、文に表すことができる。</p> <p>主体的な学び</p> <p>○課題を把握する。</p> <p>図鑑や科学的な読み物を読んで初めて知ったことから、友達に知らせたいことを決め、文に表そう。</p> <p>○初めて知ったことを整理する。 ○伝えたいことを整理し、紹介する内容を決める。 ○整理した内容を基に、紹介カードに文を書く。</p> <p>自分が伝えたいことが決まった。 友達がどんなことを書いているか気になる。 早く交流したい。</p> <p>○本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。 ※振り返りシート</p>		<p>指導 〈②〉</p> <p>・ワークシート 一番伝えたい内容を選びながら、紹介する内容の組み立てを考えている。</p> <p>指導の手立て</p> <p>整理するための視点を確認させる。</p>	

第IV章

<p>7 ◎本を読んで感じたことを共有し、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。</p> <p>対話的な学び</p> <p>○課題を把握する。</p> <p>☐ 図鑑や科学的な読み物を読んで、初めて知ったことを伝え合おう。</p> <p>○紹介カードを基に、本を紹介し合う。</p> <p>○友達の発表を聞いて「初めて知ったこと」や「感じたこと」を書く。</p> <p>○友達と感想の交流をする。</p> <p>☐ 図鑑や科学的な読み物は、いろいろなことを知ることができて面白い。</p> <p>○○さんの本を自分も読んでみたい。</p> <p>これからも、いろいろな本を読んでいきたい。</p> <p>○単元の振り返りをする。</p> <p>※振り返りシート</p>	<p>記録〈③〉</p> <p>・ワークシート</p> <p>・観察</p> <p>友達との交流を通して、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。</p>	<p>記録〈③〉</p> <p>・ワークシート</p> <p>自分の選んだ本を読んで知ったことを伝え合い、一人一人の興味や感じ方などに違いがあることに気付いている。</p>	<p>記録〈③〉</p> <p>・ワークシート</p> <p>友達が紹介した本に興味をもち、学習したことを今後の読書生活にかそうとしている。</p>
--	---	--	--

6 本時の学習（7時間扱い 3／7）

(1) 目標

初めて知ることなどに着目して文章を読み、考えや感じたことを共有して、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。

(思考力, 判断力, 表現力等)

(2) 本時における18次研究との関わり

研究内容(4) 観点ごとの総括

教材文を読んで理解したことを友達と伝え合い、自分と友達との違いや一人一人感じ方や考え方は様々であると気付くことができるようにするための見取り方とその判断

本時では、教材文の内容を理解した上で、友達と初めて知ったことや感じたことを交流しながら友達との違いに気付く学習を進め、指導に生かす評価を行う。

まず、本時の学習内容の説明を行い、児童に見通しをもたせる。そして、前時に書いたワークシートを見ながら心に残ったことを交流させる。最後に、板書に掲示した全文表示などを活用した交流を通し、「一人一人の感じ方などに違いがあること」に気付かせていきたい。その際には、交流しやすくするために、同じ場面での感想や考えの違い、同じ感想なのに場面が違うことなど、比較して考えることができるよう、児童の意見を意図的に取り上げる。なぜ選んだ部分が心に残ったのかを問い返したり、他の児童の発表に対して考えたことを質問したりして、対話を充実させる。

《努力を要する状況になりそうな児童への支援》

〈導入場面〉

【支援1】本時の活動が大きく分けて2つあることを確認する。

- ① 心に残ったところを伝え合うこと。
- ② 友達の意見を比較し、共通点や相違点に気付く学習をすること。

〈心に残っているところを交流する場面〉

【支援2】共通点や相違点に気付いているか、声を掛けて確認する。

〈振り返りの場面〉

【支援3】振り返りの際に、交流を通して表出した意見は同じだったか確認させることで、感じ方の違いに気付かせる。

- ① 心に残った場面の位置や感想、その理由を板書で一緒に確認しながら、自分の意見と比較させる。

〈授業後〉

【支援4】授業後に、ワークシートを児童とともに見ながら、友達と心に残ったところが同じだったか確認させる。

第IV章

(3) 展開

1 単位時間の問題文

1 単位時間の学習課題

まとめ **白抜き** 研究との関わり

教師の活動	児童の思考と手立て
<p>1 前時の想起，本時の見通しをもたせる。 「前時までにしてきたことは何でしょうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文を黒板に掲示する。 ・挿絵を基に，教材文の内容を簡単に振り返る。 <p>2 課題設定をする。 本時の学習の課題を確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「鳥になったきょうりゅうの話」を読んだ。 ・初めて知ったことに線を引いた。 ・心に残った理由を考えた。
<p>心に残ったことを友達と伝え合おう。</p>	
<p>3 発表の方法を説明する。</p> <p>(1) 挿絵ごとに，名前の書かれた付箋を全文掲示に貼る。</p> <p>(2) 「心に残ったこと」を発表する。</p> <p>(3) 「同じ感じ方」「違う感じ方」があれば，ワークシートに書く。</p> <p>4 全体交流 「選んだ場面が同じなのに，感じ方が違う人がいるよ。理由を聞いてみましょう。」 「みんなと全然違うところを選んだ人がいるよ。どうしてだろう。」</p> <p>5 本時の学習について振り返らせる。</p>	<p>【支援1】本時の活動が大きく分けて2つあることを確認する。</p> <p>① 心に残ったところを伝え合うこと。</p> <p>② 友達の意見を比較し，共通点や相違点に気付く学習をすること。</p> <p>・指名されたら，付箋を貼り，「心に残ったところ」を発表する。 「木に飛び移ったのが<u>すごい</u>と思いました。」</p> <p>・聞いている児童は，自分と異なる感じ方の子を見付け，名前をメモする。</p> <p>【支援2】「同じ感じ方」や「違う感じ方」に気付いているか，声を掛けて確認し，あてはまる場合は，書くように促す。</p>
<p>心に残ったことは，人それぞれ違う。 同じ文なのに，いろいろな感じ方があって面白い。</p>	
	<p>【支援3】振り返りの際に，交流を通して表出した意見は同じだったか確認させることで，感じ方の違いに気付かせる。</p> <p>① 板書を一緒に見ながら，みんなの心に残ったところが同じだったか確認させる。</p>

指導に生かす評価

6 次の時間の内容を確認する。

【評価場面】・ワークシート

考えや感じたことを共有して、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。

<手立て>

- ① 振り返りの際に、交流を通して表出した意見は同じだったか確認させることで、感じ方の違いに気付かせる。
- ② 心に残った場面の位置や感想、その理由を板書で一緒に確認しながら、自分の意見と比較させる。
- ③ 授業後に、ワークシートを児童とともに見ながら、友達と心に残ったところが同じだったか確認させる。

(4) 板書

⑤ 心に残ったことは人それぞれ違う。同じ内容なのに、感じ方が違って面白いね。

九月十四日
 ⑥ 「心に残ったこと」を友達と伝え合おう。

第IV章

※ 学習シート

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

時間	⑦	⑥⑤	④	③②	①
課題					
ふりがえりレベル	4・3・2・1	4・3・2・1	4・3・2・1	4・3・2・1	4・3・2・1
ふりがえり					
すきレベル					

この学習シート(ゴール)を達成していきましょう。(2)

本は好き 好き ぶつう 苦手 理由
 よく読む本の種類 物語 クイズ 占い しゅみ 学習マンガ 科学読み物・図かん
 3年 組 名前

① 今日のミニプロジェクト

あ 図鑑(5)か(6)・

い 科学読み物

う 目次

え なくいん

本のはじめにある。書かれている順に見出しをならべている。

おもに、絵やしん、図などを使って物事をせつめいた本。

ぶつう、本の後ろの方にある。本に出てくる言葉や物事を五十音順に整理している。

一つの物事についてくわしく説明している本。



はじめて知ったことを知らせよう ワークシート②
月 日 名前

①心に残ったことを書こう。()がすじを ()がすじを
○○のところがなるほど ○○でびっくり など

はじめて知ったことを知らせよう ワークシート③
月 日 名前

①友達との交流で、見つけよう。
◎自分と「同じ」友達の 名前
◎自分と「ちがう」友達の 名前

◎【友達と「心にのったこと」を交流したとき、どんなことを思いましたか。】

はじめて知ったことを知らせよう ワークシート④ 月 日 名前

の課題

【本の名前】

ふせんをはろう。

④ 今日のミニチャェック
 【科学読み物を讀んで、どんな感想や発見があったか。】

はじめて知ったことを知らせよう ワークシート⑤ 月 日 名前

① 「心」の「た」か「か」一番好きな「き」を選びよう。

ふせんを動かしながら、ナンバーワンを決めよう。

⑤ 紹介カードに書こう。(例)

- ア 私がしようかいたしたい本の名前は、○○です。
- イ ○○のところが、☆☆だと思いました。
- ウ (読んでもらえるような声かけ)



はじめて知ったことを知らせよう ワークシート① 月 日 名前

<p>①友達のしょうかいカードを読んで、「この本を読みたい」</p> <p>「本が好きになりよう」「という友達と本の名前を書こう。</p> <p>みんもの 「(本の題名)です。」</p> <p>新しく知ったこと</p>
<p>みんもの 「(本の題名)です。」</p> <p>新しく知ったこと</p>
<p>みんもの 「(本の題名)です。」</p> <p>新しく知ったこと</p>
<p>みんもの 「(本の題名)です。」</p> <p>新しく知ったこと</p>
<p>②よりかきあげ【友達とえらんだ本をしょうかいし合ってみて、思ったことを書こう。】</p>



はじめて知ったことを知らせよう ワークシート② 月 日 名前

<p>①单元を終えて、感想を書こう。</p>
<p>②科学読み物や図かんについて思ったことを書こう。</p>
<p>③本好きなレベルは、スバリ(〇～10まで)</p>



7 研究協議の主な内容

(1) グループ協議の内容

【研究内容(3) 指導計画・評価計画】

- ・主体的に学習に取り組む態度については、児童のスタートラインを確認するために、単元導入時にも記録に残す評価を位置付けた。単元の終末に向け、どのように変容したり、調整したりするかを見取った。
- ・いわゆる「評価疲れ」からの脱却のため、全時間で記録に残す評価を行わない意図をもち、評価計画を構築した。指導に生かす評価はB規準に達していない児童を中心に見取り、授業改善を図っていく。

【研究内容(4) 観点ごとの総括】

- ・抽出児童2名について、授業者と参観者による評価のずれを協議した。なお、指導に生かす評価の視点を生かし、B規準に達していない児童を抽出することとした。
- ・考えの共通点や相違点など、評価基準が明確になっていると良かった。
- ・ワークシートに書かせたい内容が明確で、適切な評価を行うことができた。

(2) 指導主事の助言

《上川教育局教育支援課義務教育指導班主査 望月 俊綱》

① 主体的に学習に取り組む態度の評価について

- ・「主体的に学習に取り組む態度」の観点では、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面の双方を適切に評価できる評価規準を設定することが大切である。
- ・本単元の評価規準である「積極的に幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って、本を読んで書いたり、感心したりしたことを紹介しようとしている」における「粘り強い取組を行おうとする側面」は、単元で重点を置く指導事項であり、「幅広く読書に親しむ」姿である。また、「自らの学習を調整しようとする側面」は、評価規準における「本を読んで書いたり、感心したりしたことを紹介する」言語活動であり、教師が設定した言語活動を通して見取することを示している。
- ・評価規準作成の手順を理解することで、国語科における単元構成のポイントを確認することができるので、今後も評価規準の作成について研究を深めていただきたい。

② 今後、求められる授業像について

- ・児童一人ひとりが感じたことを共有して、自分自身の可能性や考えを広げたり深めたりしていくことが求められている。
- ・研究授業では、児童が自分の考えを友達と共有している姿が見られた。今後は、自分の考えを共有した後、得られた多くの考えを基に、自分の考えを再構築する時間を確保することで、更に考えが深まったり、広がったりすることにつながる。
- ・対話的な学びとして、交流する場面だけではなく、交流後の自分の考えを振り返る場面を大切にしたい。

《旭川市教育委員会教育指導課主査 上田 達也》

① 指導事項「共有」について

- ・一人ひとりの感じ方に違いがあることに気付くことを目標として学習が進んでいたが、友達と感じ方が同じであるという気付きも目標の一部として評価すると良かった。
- ・指導に生かす評価として、授業者は児童の学習の様子を見取りながら、適宜声掛けをし、評価を行っていた。

② 指導に生かす評価、記録に残す評価の位置付けについて

- ・指導に生かす評価を形成的評価と捉えると、毎時間行うことが必要である。記録に残す評価を総括的評価と捉えると、単元の重点を扱った時間で行うと良い。
- ・記録に残す評価を、単元を通して児童がどのように変容したかを見取るために行うのであれば、単元の終末に一度きりではなく、単元の3時間目、7時間目に行うことも考えられる。

8 事後分析

(1) 単元における指導に生かす評価と記録に残す評価を位置付けた評価計画について

本単元は、ねらいを達成させるために、「本を読んで得た新しい知識を友達に伝える」ということを主な活動として設定した。児童の実態として、科学読み物とはどのような内容の本か分からず、あまり親しんできていないという様子であった。そこで、まずは、科学読み物を読むと「新しいことを知ることができた」「〇〇について詳しくなれた」などの実感が必要であった。

そこで、「鳥になったきょうりゅうの話」という共通の話を読み、自分が初めて知ったことや感じたことを交流させた。その結果、同じ感じ方もあれば違う感じ方もあるということが明らかになっていった。

共通の話を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人ひとりの感じ方などに違いがあることに気付くことができた。その経験を通して自分の興味のある本を選んで読んでいくという活動を進めた。児童の思考の流れに即して進めていくことができたり、児童も次の活動に向けて、主体的に取り組んだりすることができた。

評価計画については、「一人ひとりの感じ方などに違いがあることに気付くことができる。」という目標を達成するために、指導に生かす評価と記録に残す評価を設定した。1冊目は「鳥になったきょうりゅうの話」、2冊目は自分の興味のある本において、児童がねらいを達成できるように指導をした。その結果、児童は単元のねらいを達成することができ、記録に残す評価において、見取ることができた。指導に生かす評価については、達成が難しいと思われる児童を抽出し、評価を行った。

①	②	③	④	⑤	時間
交流がとくいなので上手にいきそうで友木しそ。	学習計画を立てて、感じたことを書く。	紹介カードを二つで準備	自分の本は、スカーンだ	科学書の女を	学習計画 一冊を立てる
4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	ふりがえりレベル
紹介カードのしかたで	紹介カードを二つで準備	自分の本は、スカーンだ	科学書の女を	科学書の女を	ふりがえり
2DLv	20Lv	16Lv	7Lv	8Lv	すまレ

この学習のゴール (いかにして)

個人を評価して、本をもとに友達と交流しよう。

